



平成 30 年 11 月 12 日
総合政策局国際政策課
(グローバル戦略)

南・東南アジア大使館向けシティ・ツアーを開催し、 日本の「質の高いインフラ」を紹介しました！

国土交通省は、我が国の「質の高いインフラ」を発信するとともに、相手国とのさらなる関係強化を目的として、南・東南アジア諸国在京大使等を対象とした「シティ・ツアー」を開催しました。

今回のツアーでは、8カ国17名の在京大使等に対して、つくばエクスプレス为例に、公共交通指向型開発（Transit Oriented Development: TOD）の手法とともに、鉄道の安全運行に係る技術を紹介しましたので、その結果概要をお知らせします。

1. 開催日：平成30年11月6日(火)
2. 主催：国土交通省、外務省(共催)
3. 出席国・人数：8カ国17名（下線は大使出席国）
インド、インドネシア、シンガポール、スリランカ、ベトナム、ミャンマー、モルディブ、ラオス
4. 結果概要：別紙をご覧ください。

問合せ先：総合政策局国際政策課(グローバル戦略)
長谷川、岐山(内線 25204, 25225)

TEL：03-5253-8111(代表) 03-5253-8316(直通)

FAX：03-5253-1562

① 国土交通省幹部と南・東南アジア諸国在京大使等との意見交換等(国土交通省)

冒頭、大塚副大臣より、我が国の「質の高いインフラ」システムが、各国の課題解決の一助となることを期待する旨挨拶しました。

意見交換では、在京大使等より、アジアにおける「質の高いインフラ」や「スマートシティ」に関する動向、日本の都市開発の特徴、災害対応、再生可能エネルギー等についての意見が出されるなど、活発な意見交換が交わされました。



<大塚副大臣による冒頭挨拶>



<意見交換の様子>

② 現地視察 : つくばエクスプレス車両基地(茨城県)

つくばエクスプレス車両基地では、安全で円滑な鉄道サービスを支える総合指令所と、車両メンテナンスの現場を紹介しました。在京大使等からは、緊急時の全運転手への連絡方法や緊急停止の運用、車両のメンテナンスや更新の頻度等に関心が示されました。



<車両基地>



<車両基地視察の様子>

③ 現地視察 : 流山おおたかの森駅周辺の開発エリア(千葉県)

TODの事例として、流山おおたかの森駅周辺の開発エリアをバスで周遊し、駅前広場を視察しました。希少生物の生息する森や農地の保全、4つの駅前広場、駅前保育所と郊外保育所との連携等まちづくりに当たって配慮・工夫した点等について、都市再生機構が説明しました。



<参加者集合写真>



<駅前広場視察の様子>